

次のステージをどう切り拓くか・・・
北名古屋市らしさをどう創るか・・・

北名古屋市国際交流協会拡充について

2012. 03. 08. 制定
2013. 03. 14. 改正
2016. 06. 17. 改正

北名古屋市国際交流協会拡充の必要性

- 1 グローバル時代のなかにあって、10万都市にふさわしい国際交流機能を拡充する必要がある。
- 2 厳しい地域間競争のなかにあって、北名古屋市らしい国際交流モデルを創り出す必要がある。
- 3 時代の転換期のなかにあって、北名古屋市らしい市民協働モデルを創り出す必要がある。

北名古屋市国際交流協会の事業方針と組織拡充

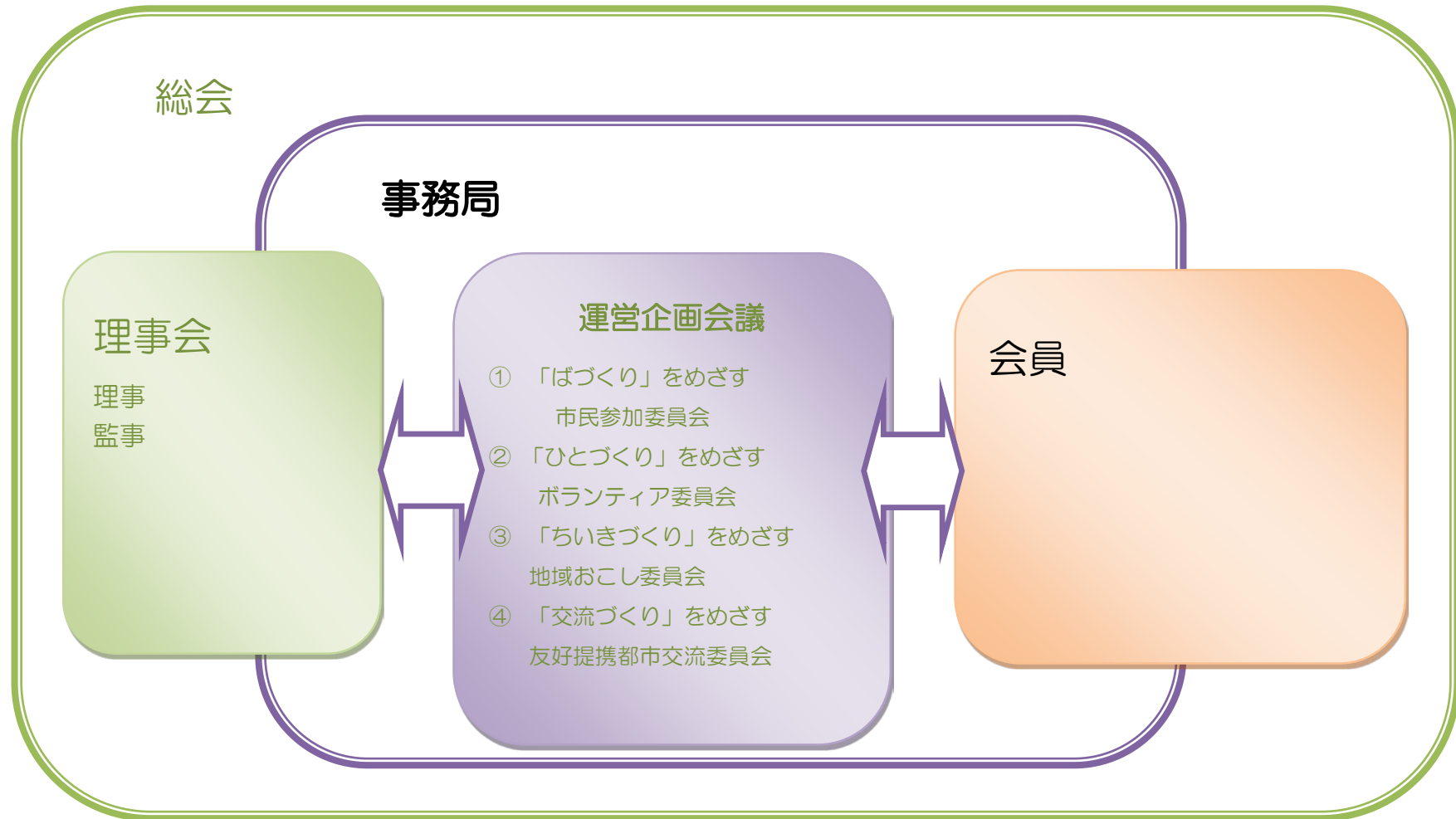
事業方針

- 1 北名古屋市国際交流協会は、世界に開かれた多文化共生社会の実現をめざすとともに、地域の活性化と国際平和に寄与するため、市民参加による草の根の国際交流を推進する。
- 2 北名古屋市国際交流協会は、①市民参加と、②オープンな運営を基本理念として、北名古屋市民の自由な発想と行動力により推進する。

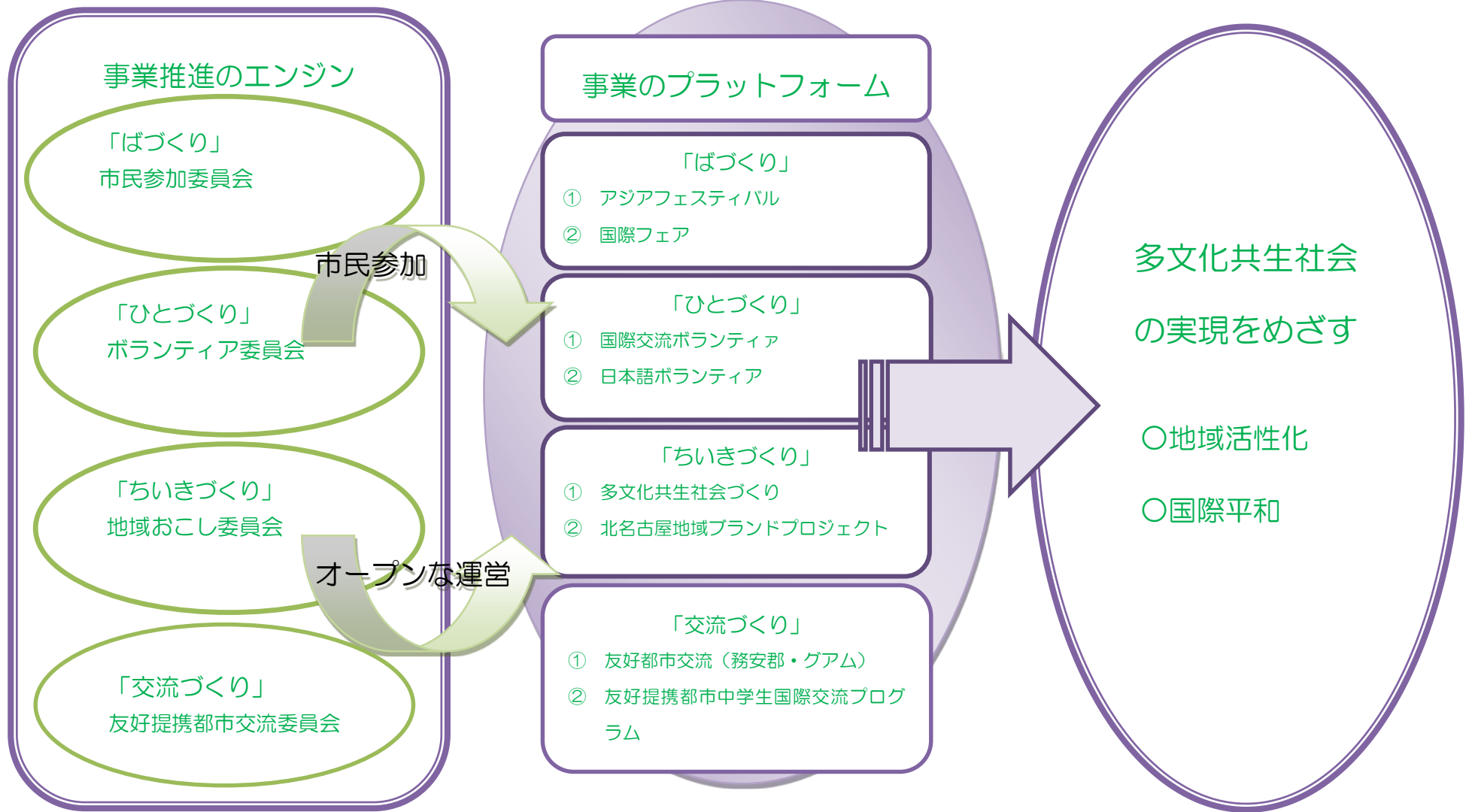
組織拡充

- 1 北名古屋市国際交流協会に、**運営企画会議**を立ち上げ、①国際交流の「ばづくり」をめざす**市民参加委員会**、②国際交流の「ひとづくり」をめざす**ボランティア委員会**、③国際交流による「ちいきづくり」をめざす**地域おこし委員会**、④友好提携都市と市民が主役の「交流づくり」をめざす**友好提携都市交流委員会**、を設置する。
- 2 この委員会は、協会事業の推進において、アイデア出しから、企画、運営、実施まで、すべてのプロセスに関わり、市民参加の新しいかたちの実現をめざす。

北名古屋市国際交流協会の事業推進体制



北名古屋市国際交流協会の事業展開イメージ



北名古屋国際交流協会拡充にかかる工程表

	運営形態	市民参加	合意形成	公開性	事業展開	主要事業
第1ステージ 2007～2011 →追いつく	公設民営 (○)	① 行催事参加 (○) ② ボランティア参加 (○)	① 総会 (○) ② 理事会 (○)	① ホームページ開設 (○) ② 情報開示 (△)	① ばづくり (○) ② ひとづくり (○) ③ ちいきづくり (○)	① 韓国務安郡 →2008.07.09.友好都市締結 (○) ② 韓国フェス (○)
第2ステージ 2012～2015 →並ぶ	公設民営 (○)	① 行催事参加 (○) ② ボランティア参加 (○) ③ 事業企画・運営参加 (○)	① 総会 (○) ② 理事会 (○) ③ 運営企画会議 (○)	① ホームページの活用 (○) ② ボランティア交流サイト(フェイスブック)の開設 (○) ③ 情報全面開示 →合意形成プロセスまで (△)	① ばづくり (○) ② ひとづくり (○) ③ ちいきづくり (○) ④ 交流づくり (○)	① アジアフェス (○) ② 友好提携都市中学生交流プログラム (○) ③ 北名古屋地域ブランドプロジェクト (○) ④ 米国グアムとの交流 →中学生語学留学プログラム (○)
第3ステージ 2016～2020 →追い越す	公設民営→ 民設民営化	① 行催事参加 ② ボランティア参加 ③ 事業企画・運営参加 →アイデア出しから企画・運営・実施まで	① 総会 ② 理事会 ③ 運営企画会議	① ホームページの活用 ② フェイスブックの活用 ③ 会報とコミュニティ紙との一体化 →情報全面開示	① ばづくり ② ひとづくり ③ ちいきづくり ④ 交流づくり	① アジア太平洋フェス ② 友好交流プログラム →韓国務安郡・米国グアム ③ 北名古屋地域ブランドプロジェクト